

同窓会は本校生徒の「湧心魂…愛・誇り・自立」を応援します 卒業生が9,490名を超えました

校訓 自主・責任・創造



同窓会会長になつて

同窓会会長 古田 利 武

新年明けましておめでとうございます。皆様にはお元気で新年をお迎えのことと思います。同窓会会員、教職員の皆様には、日ごろから同窓会活動にご理解とご協力賜わり、厚く御礼と感謝を申し上げます。昭和五十八年三月の一回生から三十三年をへて、昨年の九月の前期卒業生を含めると卒業生が九千四百九十名となりました。普通高校と言つても三課程の生徒が各課程においてそれぞれ、真剣に取り組んでいる姿には感動する次第です。

平成二十七年六月十三日の第一回役員会において、平成二十六年度の事業報告、決算・監査報告、二十七年年度の行事・予算の審議又役員改選において満場一致で可決しました。



校長として着任して

湧心館高校長 上妻 利 博

新春の喜びを申し上げます。旧年中は、古田会長を始め同窓会の皆様には、本校の教育活動に物心両面で御支援を賜り、心から感謝申し上げます。また、今年も変わらぬお力添えをいただきますようお願い申し上げます。

私は3年前、本校の副校長兼全日制教頭として赴任し、その後転出をしましたが、昨年4月、縁あって再び本校に校長として着任しました。初日に駐車場に着くや、朝からゴミ拾いをして生徒がい

発行所
湧心館高等学校
同窓会事務局
熊本市中央区出水4丁目1-2
電話(096)372-5311
題字 三嶋 勝彦
http://www.yusinkan.com
同窓生数 9,490人

反面世界では、十一月にはフランスにおいて同時多発テロが発生し百数十名の犠牲者が出たこと、十二月には中国において、大規模な地滑りが発生し二十一日までに八十五名の行方不明者が出ているのは、まだ記憶に生々しく焼き付いていること等世界中が大きな危機に遭遇した一年でございました。

なお、同窓会活動は四月の三課程の入学式、五月の体育祭への出席、監査六月、一月の同総会役員会、九月の通信制前期卒業式への出席、十月の江極だより編集会議・ホームページ運営会議、一月の会報発行二月からの三課程の同総会入会式、三月の三課程の卒業式への出席などを計画し、活動しております。

最後に、会の活動について、同窓会会員のご理解とご支援を賜りますようご祈念申し上げますと共に皆様力を結集し、母校の発展に寄与できる同窓会を目指していきたいと思っております。皆様にとって幸多き素晴らしい一年でありますようにご祈念申し上げて御挨拶いたします。

☆お便り コーナー

江津高として開校、昭和58年3月から61年3月に卒業した江津高の卒業生25人・恩師12人、計37人が参加、「草創期同窓会」を開催しました。

草創期同窓会を開催

(旧江津高1〜4回卒業生)
平成27年6月7日、メルパルク熊本で湧心館高の前身で昭和54年4月に県内初の定時制・通信制独立校(4年生)



江津高校草創期同窓会 平成27年6月7日 メルパルク熊本

つ掲げました。先ず「知」。確かな学力を充実させます。特に、生徒自身が能動的・自主的に参加するアクティブラーニングを推進していきます。

次に「徳」。豊かな情操と道徳心を育みます。昨今、グローバル人材の育成ということが叫ばれています。私は着任早々、入学式で紋付袴を着装し式辞に英語スピーチを入れました。

周りからは随分冷やかされましたが、私は至って真面目で、紋付袴は、我が国の伝統と文化を尊重する態度につながれば、との思いから、また英語スピーチは、グローバルな視点身を付けるツールとして英語を勉強してほしい、との

思いからでした。最後に「体」。心身の健康を自己管理する態度を育成します。社会状況の変化は、どんどん健康を損ねる方向に加速しています。生徒には正しい食習慣と生活習慣を身に付けてほしいと願っています。

さて本校は、昭和五十四年の江津高校開校から数えて創立三十六年目を迎え、同窓生の数も九千五百人近くに近づきました。近々、創立四十周年、同窓生一人、ということになります。周年行事等につい

ては、今後少しずつ話題にしていきたいと思っております。同窓会会員の皆様には、これから何かとお世話になることと思います。今後とも御支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成26年度同窓会決算書

1. 一般会計 (収入の部)							単位: 円
科目	当初予算額	補正予算額	決算額	増減	備考		
会費	1,890,000	0	1,535,000	△355,000	307名×5,000円		
繰越金	306,452	0	306,452	0			
雑収入	48	0	6,478	6,430	預金利息等		
計	2,196,500	0	1,847,930	△348,570			
2. 特別会計							単位: 円
前年度繰越金	本年度積立金	預金利子	同窓会発足30周年記念事業会計より充当	合計	支出	残高	
2,789,996	300,000	558	707,621	3,798,175	0	3,798,175	
3. 監査報告							単位: 円
関係諸帳簿及び書類を監査した結果、上記のとおり相違なく正確かつ適法に執行されていることを認めます。							
平成27年5月16日							
監査 宇野春美							
山口美重子							
古田利武							

平成27年度同窓会予算書

1. 一般会計 (収入の部)					単位: 円
科目	本年度予算額	前年度予算額	増減	備考	
会費	1,450,000	1,890,000	△440,000	全日制 117名×5,000円 定時制 30名×5,000円 通信制 143名×5,000円	
繰越金	299,907	306,452	△6,545		
雑収入	48	48	0	預金利息	
計	1,749,955	2,196,500	△446,545		
2. 特別会計					単位: 円
科目	本年度予算額	前年度予算額	増減	備考	
事務通信費	730,000	650,000	80,000	同窓会新聞郵送料、封筒印刷代、ホームページ年間管理料 同窓会事務処理用パソコン更新代	
会議費	250,000	250,000	0	役員会活動費、役員懇親会	
学校行事費	160,000	200,000	△40,000	卒業証書用ホルダー	
会報費	150,000	200,000	△50,000	同窓会新聞印刷代、新聞広告代	
名簿管理費	100,000	150,000	△50,000	同窓会新聞郵送用宛名シール代	
給与	60,000	60,000	0	事務補助職員手当	
積立金	200,000	550,000	△350,000	同窓会積立金	
予備費	54,955	136,500	△81,545		
計	1,704,955	2,196,500	△491,545		
前年度からの繰越金					3,798,175円





本年度 定時制課
 程は41名の新生を迎え、生徒数156名(男86名、女70名)で出発しました。

上妻利博校長は、着任のごあいさつの中で、私たち教職員にまい進するよう訓示がありました。その中で、今年が「一日、一日、丁寧に」をスローガンに、授業と行事を大切に、生徒一人一人の自尊感情とコミュニケーション能力の向上を目指しました。

○県定通体大会では、野球部が県大会で優勝し、西九州大会で準優勝に輝きました。全国大会には、ソフトテニスと卓球が駒を進め健闘しました。

○校内生活体験発表大会では、苦境を乗り越えた体験談、定時に通う生徒ならではの悩みや苦悩を明日への希望につなげて語る姿に、共感を誘い、感銘を受けた。感動的な一日となりました。県大会(県定通文化大会)では3の2船津佑夏さんが堂々の発表をされました。

○県定通文化大会では、今や恒例となり、これを目当ての来場者がいる太鼓部がオーブニングを飾りました。また、ステージの部では「伝統と創造のコラボレーション」と題して、素晴らしいステージパフォーマンスを披露しました。

情報科学科のランタイムショップも盛況で、文化の薫り高き一日になりました。

○芸術鑑賞は、例年の春・秋の映画鑑賞に加えて、今年も、熊本教育会館寄席が本校で行われ、熊工定時制と共に落語を楽しまました。江戸の古典芸能の粋をつぶさに鑑賞し、その臨場感は圧巻でした。更に、熊本放送、熊日のご厚意で、希望者に「松竹大歌舞伎」の鑑賞も実現しました。

○くまもと教育の日「異世代間交流による地域の方との調理交流会」では、今

定時制近況
 教頭 西村 博生

年も、出水南地区の皆様と共に「巻寿司」「さつまいものレモン煮」などの調理体験を通して、食文化の継承と地域との交流を楽しみました。地域との相互理解、コミュニケーションが深まる有意義な体験となりました。

○第8回湧定祭は、今年も大変盛り上がりしました。恒例の全生徒によるモザイクアート「江津湖の花火」竹あかり「湧定の灯」が来場者をうならせました。湧定のうた、女装男装コンテスト、ステージ発表、展示、バザーなども大盛況でした。多くの地域の方々や校外での友人達もたくさん見に来てくれました。

○研修旅行では、3年次生が京都・奈良で素晴らしい思い出作りができました。

○各種検定取得状況(11月末)は、全商簿算電卓検定1級2名、3級1名。全商ビジネス文書実務検定1級2名、1級速度3名、2級1名、2級速度1名、3級8名3級速度3名延べ21名が合格しました。

○熊本県頑張る高校生表彰を谷口隆一君が受賞しました。

○進路決定状況(11月末)は、就職継続が多い中、進学5名、就職4名です。希望者全員の進路が実現するよう、進路指導部を中心に職員全員で支援しています。

○最後に、同窓会が部活動で活躍です。近年は特に「湧心魂」が込められているよう、練習に励み、定通行事はもとより、地域行事や施設慰問等で学校と地域を結ぶ交流に貢献しています。本当にありがとうございます。

これからの同窓会の皆様方のご指導、ご支援をよろしくお願いします。

通信制近況
 教頭 平江 良樹

通信制は、昨年度から新編入生と編入生(四月)も前期(四月)の新生2回入学となりました。新入生数は104名(前期94名、後期10名)、転・編入生数119(前期66名、後期53名)、活動生総数601名(10月現在)です。

○4月12日の入学式では、上妻利博校長が式辞の中で、年齢やこれまでの環境、入学までの経緯、様々な人が通信制に入学しているが、「学びたい」「高校卒業の資格を取りたい」という熱い思いがあること、通信制で学び続けることは大変で、強い意志が必要で、それを自ら選択した皆さんに敬意を表すこと、新入生代表の石村加代子さんが、卒業に向けて通信制で学ぶ決意を力強く宣誓しました。

○前期スクーリングは、本校が4月19日、協力校が4月26日から開始され、気持ちも新たに通信制の学習がスタートしました。

○6月7日、「第65回県定通総合体育大会」が本校及び熊本工業高校を会場として開催され、バレーボール男子・女子が団体優勝、個人戦でもバドミントン男子シングルス、ソフトテニス男子・女子、卓球男子が上位入賞を果たし、僅かな練習期間とハンディを乗り越え、輝かしい成果を上げました。その結果、8月に開催された「全国定通総合体育大会」には、バドミントンソフトテニス、バレーボール卓球の4競技に選手19名が出場、ソフトテニス女子個人戦の住田・渡邊ペアがベスト8に入るなど大健闘しました。

○7月12日の「校内生活体験発表会」では、3名の発表者が個性あふれる発表を行いました。発表者一人一人が、個性あふれる発表を行いました。発表者一人一人が、個性あふれる発表を行いました。

通信制では、昨年度に引き続き「後期新入学」導入の周知徹底、生徒の定着率向上及び生徒の進路実現を図っており、「体験入学・中学校訪問」「学校HP等」を活用した広報・募集活動、「学習会」を活用した生徒の自学自習力及び自主性の育成等の推進に努めています。昨年度から導入した「体験入学」も参加者から好評です。また、テレビ会議システムを利用した「遠隔授業」の準備についても、研究を続けており、今後の実現を目指して推進する予定です。

どうぞ、今後とも、同窓生の皆様方の御指導・御支援を賜りますようお願いいたします。

全日制近況
 教頭 古閑 千尋

本年度 湧心館高校 校全日制は、上妻利博校長を第18代校長として迎え、4月8日(水)の入学式で希望に満ちた全日制新入生159名(男子78名、女子81名)を加えて、全校生徒408名(男子203名、女子205名)で新たな1年をスタートしました。今年度は「自立・責任・創造」の校訓のもと、「自己の特性を最大限に伸ばそう!」「他者と積極的に対話しよう!」「世のため人のために行おう!」を学べよう!と、本校が求める生徒像、授業や学校行事、部活動等の活性化を図っています。

これまでの湧心館高校全日制の教育活動を振り返ります。雨による順延により予定より一日遅れの5月17日(日)に体育大会が実施されました。水を含んだグラウンドの状況で、競技の進捗が心配されましたが、生徒、職員、体育大会への思いによって、青春フルパワーで、大会テーマ「輝くその手に掴む勝利の喜び」にある通信制の喜びを、素晴らしい大会となりました。

6月上旬の高校総体・総文祭は、サッカー、バスケットボール、硬式テニス、卓球、バドミントン、陸上競技、剣道、演劇、書道、写真、茶道の各部が参加し、日頃の練習の成果を存分に発揮しながらよく健闘しました。各部とも残しながら入賞はできませんでしたが、生徒の思い出に残る大会となりました。

夏の全国高校野球選手権大会熊本県大会では、1回戦で大津高校と対戦し12対3で敗れ、昨年度の初戦敗退の雪辱を晴らすことが出来ませんでした。残念な結果でしたが、選手たちは懸命なプレーが随所にチャンスを生み出し、そのチャンスを生かすよう頑張ることが出来たことが、選手たちにとって大きな励みとなりました。

6月26日(金)には、生徒会役員選挙が行われ、新生徒会長に2年生の西村秋輝君、副会長に1年生の西水流知花さんが選ばれました。この二人を中心に組織された新生徒会執行部の活躍で、その後の生徒会行事が益々充実しています。

6月30日(火)から3日間、2年生はインターンシップ(企業体験実習)を行いました。先行きの不透明な現代にあって、働くことの厳しさを知りながら、働くことで得られる充実感や生活のための第一歩として非常に貴重な経験です。例年、このインターンシップでの経験が3年生になった時の職業選択に直結する生徒もいます。今年も生徒たちは、それぞれの体験先で多くの学びを得ることができていたようです。

10月9日(金)の芸術鑑賞では、熊本を中心に活躍の「エストゥディオ・アレグリア」によるフラメンコ「エス・ダンス」によるフラメンコが演じられました。生徒は、初めて目にするフラメンコの迫力に圧倒されながらも、演目と演目の間に準備された体験演奏や体験ダンスを経験して、心も体もフラメンコの魅力に引き込まれていました。翌10日(土)は「笑顔満開!湧心祭!!」をテーマとして文化祭が開かれました。開祭式に続き、ステージ発表が行われ、芸術(音楽)・選択者による合唱に始まり演劇部の上演で締めくくると、ステージ発表はどれも力作で、生徒たちの若々しい感性が見事に表現されました。また、各クラスや委員会、部活動の展示や、部活動のバザーも例年以上に充実し、育友会の食品バザーとともに大変盛況でした。

最後に、3年生の進路決定については、12月現在で進路状況です。3年部と進路部を中心とした進路指導の取組に、生徒たちが本気になって努力していることが成果として実を結んでいます。これからセンター試験をはじめ、大学一般入試が本番となります。今後、生徒全員が社会の大海に無事船出ができることを目指して、生徒、職員が一体となって進んでいく予定です。



通信制は、昨年度から新編入生と編入生(四月)も前期(四月)の新生2回入学となりました。新入生数は104名(前期94名、後期10名)、転・編入生数119(前期66名、後期53名)、活動生総数601名(10月現在)です。

○4月12日の入学式では、上妻利博校長が式辞の中で、年齢やこれまでの環境、入学までの経緯、様々な人が通信制に入学しているが、「学びたい」「高校卒業の資格を取りたい」という熱い思いがあること、通信制で学び続けることは大変で、強い意志が必要で、それを自ら選択した皆さんに敬意を表すこと、新入生代表の石村加代子さんが、卒業に向けて通信制で学ぶ決意を力強く宣誓しました。

○前期スクーリングは、本校が4月19日、協力校が4月26日から開始され、気持ちも新たに通信制の学習がスタートしました。

○6月7日、「第65回県定通総合体育大会」が本校及び熊本工業高校を会場として開催され、バレーボール男子・女子が団体優勝、個人戦でもバドミントン男子シングルス、ソフトテニス男子・女子、卓球男子が上位入賞を果たし、僅かな練習期間とハンディを乗り越え、輝かしい成果を上げました。その結果、8月に開催された「全国定通総合体育大会」には、バドミントンソフトテニス、バレーボール卓球の4競技に選手19名が出場、ソフトテニス女子個人戦の住田・渡邊ペアがベスト8に入るなど大健闘しました。

○7月12日の「校内生活体験発表会」では、3名の発表者が個性あふれる発表を行いました。発表者一人一人が、個性あふれる発表を行いました。

通信制では、昨年度に引き続き「後期新入学」導入の周知徹底、生徒の定着率向上及び生徒の進路実現を図っており、「体験入学・中学校訪問」「学校HP等」を活用した広報・募集活動、「学習会」を活用した生徒の自学自習力及び自主性の育成等の推進に努めています。昨年度から導入した「体験入学」も参加者から好評です。また、テレビ会議システムを利用した「遠隔授業」の準備についても、研究を続けており、今後の実現を目指して推進する予定です。

どうぞ、今後とも、同窓生の皆様方の御指導・御支援を賜りますようお願いいたします。



本年度 湧心館高校 校全日制は、上妻利博校長を第18代校長として迎え、4月8日(水)の入学式で希望に満ちた全日制新入生159名(男子78名、女子81名)を加えて、全校生徒408名(男子203名、女子205名)で新たな1年をスタートしました。今年度は「自立・責任・創造」の校訓のもと、「自己の特性を最大限に伸ばそう!」「他者と積極的に対話しよう!」「世のため人のために行おう!」を学べよう!と、本校が求める生徒像、授業や学校行事、部活動等の活性化を図っています。

これまでの湧心館高校全日制の教育活動を振り返ります。雨による順延により予定より一日遅れの5月17日(日)に体育大会が実施されました。水を含んだグラウンドの状況で、競技の進捗が心配されましたが、生徒、職員、体育大会への思いによって、青春フルパワーで、大会テーマ「輝くその手に掴む勝利の喜び」にある通信制の喜びを、素晴らしい大会となりました。

6月上旬の高校総体・総文祭は、サッカー、バスケットボール、硬式テニス、卓球、バドミントン、陸上競技、剣道、演劇、書道、写真、茶道の各部が参加し、日頃の練習の成果を存分に発揮しながらよく健闘しました。各部とも残しながら入賞はできませんでしたが、生徒の思い出に残る大会となりました。

夏の全国高校野球選手権大会熊本県大会では、1回戦で大津高校と対戦し12対3で敗れ、昨年度の初戦敗退の雪辱を晴らすことが出来ませんでした。残念な結果でしたが、選手たちは懸命なプレーが随所にチャンスを生み出し、そのチャンスを生かすよう頑張ることが出来たことが、選手たちにとって大きな励みとなりました。

6月26日(金)には、生徒会役員選挙が行われ、新生徒会長に2年生の西村秋輝君、副会長に1年生の西水流知花さんが選ばれました。この二人を中心に組織された新生徒会執行部の活躍で、その後の生徒会行事が益々充実しています。

6月30日(火)から3日間、2年生はインターンシップ(企業体験実習)を行いました。先行きの不透明な現代にあって、働くことの厳しさを知りながら、働くことで得られる充実感や生活のための第一歩として非常に貴重な経験です。例年、このインターンシップでの経験が3年生になった時の職業選択に直結する生徒もいます。今年も生徒たちは、それぞれの体験先で多くの学びを得ることができていたようです。

10月9日(金)の芸術鑑賞では、熊本を中心に活躍の「エストゥディオ・アレグリア」によるフラメンコ「エス・ダンス」によるフラメンコが演じられました。生徒は、初めて目にするフラメンコの迫力に圧倒されながらも、演目と演目の間に準備された体験演奏や体験ダンスを経験して、心も体もフラメンコの魅力に引き込まれていました。翌10日(土)は「笑顔満開!湧心祭!!」をテーマとして文化祭が開かれました。開祭式に続き、ステージ発表が行われ、芸術(音楽)・選択者による合唱に始まり演劇部の上演で締めくくると、ステージ発表はどれも力作で、生徒たちの若々しい感性が見事に表現されました。また、各クラスや委員会、部活動の展示や、部活動のバザーも例年以上に充実し、育友会の食品バザーとともに大変盛況でした。

最後に、3年生の進路決定については、12月現在で進路状況です。3年部と進路部を中心とした進路指導の取組に、生徒たちが本気になって努力していることが成果として実を結んでいます。これからセンター試験をはじめ、大学一般入試が本番となります。今後、生徒全員が社会の大海に無事船出ができることを目指して、生徒、職員が一体となって進んでいく予定です。



本年度 湧心館高校 校全日制は、上妻利博校長を第18代校長として迎え、4月8日(水)の入学式で希望に満ちた全日制新入生159名(男子78名、女子81名)を加えて、全校生徒408名(男子203名、女子205名)で新たな1年をスタートしました。今年度は「自立・責任・創造」の校訓のもと、「自己の特性を最大限に伸ばそう!」「他者と積極的に対話しよう!」「世のため人のために行おう!」を学べよう!と、本校が求める生徒像、授業や学校行事、部活動等の活性化を図っています。

これまでの湧心館高校全日制の教育活動を振り返ります。雨による順延により予定より一日遅れの5月17日(日)に体育大会が実施されました。水を含んだグラウンドの状況で、競技の進捗が心配されましたが、生徒、職員、体育大会への思いによって、青春フルパワーで、大会テーマ「輝くその手に掴む勝利の喜び」にある通信制の喜びを、素晴らしい大会となりました。

6月上旬の高校総体・総文祭は、サッカー、バスケットボール、硬式テニス、卓球、バドミントン、陸上競技、剣道、演劇、書道、写真、茶道の各部が参加し、日頃の練習の成果を存分に発揮しながらよく健闘しました。各部とも残しながら入賞はできませんでしたが、生徒の思い出に残る大会となりました。

夏の全国高校野球選手権大会熊本県大会では、1回戦で大津高校と対戦し12対3で敗れ、昨年度の初戦敗退の雪辱を晴らすことが出来ませんでした。残念な結果でしたが、選手たちは懸命なプレーが随所にチャンスを生み出し、そのチャンスを生かすよう頑張ることが出来たことが、選手たちにとって大きな励みとなりました。

6月26日(金)には、生徒会役員選挙が行われ、新生徒会長に2年生の西村秋輝君、副会長に1年生の西水流知花さんが選ばれました。この二人を中心に組織された新生徒会執行部の活躍で、その後の生徒会行事が益々充実しています。

6月30日(火)から3日間、2年生はインターンシップ(企業体験実習)を行いました。先行きの不透明な現代にあって、働くことの厳しさを知りながら、働くことで得られる充実感や生活のための第一歩として非常に貴重な経験です。例年、このインターンシップでの経験が3年生になった時の職業選択に直結する生徒もいます。今年も生徒たちは、それぞれの体験先で多くの学びを得ることができていたようです。

10月9日(金)の芸術鑑賞では、熊本を中心に活躍の「エストゥディオ・アレグリア」によるフラメンコ「エス・ダンス」によるフラメンコが演じられました。生徒は、初めて目にするフラメンコの迫力に圧倒されながらも、演目と演目の間に準備された体験演奏や体験ダンスを経験して、心も体もフラメンコの魅力に引き込まれていました。翌10日(土)は「笑顔満開!湧心祭!!」をテーマとして文化祭が開かれました。開祭式に続き、ステージ発表が行われ、芸術(音楽)・選択者による合唱に始まり演劇部の上演で締めくくると、ステージ発表はどれも力作で、生徒たちの若々しい感性が見事に表現されました。また、各クラスや委員会、部活動の展示や、部活動のバザーも例年以上に充実し、育友会の食品バザーとともに大変盛況でした。

最後に、3年生の進路決定については、12月現在で進路状況です。3年部と進路部を中心とした進路指導の取組に、生徒たちが本気になって努力していることが成果として実を結んでいます。これからセンター試験をはじめ、大学一般入試が本番となります。今後、生徒全員が社会の大海に無事船出ができることを目指して、生徒、職員が一体となって進んでいく予定です。

お知らせ



平成25年4月から2年間全日制教頭として、また昨年4月から副校長としてお世話になっております。教頭として全日制に就任する際には、現校長の上妻先生から引継ぎをしていただき、今度は直接の上司として指導していただいております。湧心館高校3年目ということで、同窓会役員の方々にも大変良く 부탁드립니다。微力ではありますが、少しでも湧心館高校のために力になりますよう日々努力していきます。今後ともよろしくお願いたします。

副校長 荒木 雅浩

役員改選

新執行部の紹介
 新役員が決まりました。任期は平成二十七年六月から平成二十九年の役員改選までです。

顧問	平川 誠二	江通 1回
顧問	高松 幸代	江通 3回
会長	古田 利武	湧通 5回
副会長	高橋 和子	湧通 17回
副会長	工納 正徳	江定 4回
副会長	中村 雅孝	湧登 4回
書記	小林夕希子	湧通 14回
会計	宮木浩之介	湧全 12回
監査	宮本 和扶	湧通 15回
監査	宇野 春美	江定 2回
監査	山口美重子	湧登 1回

お願い

会員の身の上、変更(住所や氏名等)が、発生した場合は、速やかに同窓会事務局に連絡ください。

電話 096・372・5311
 Fax 096・364・9382

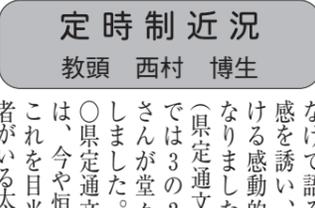
編集後記

会員の皆様「江極だより」第二十七号をお届けします。三十六年目を迎えた母校の近況と第一回生の草創期の同窓会等掲載しましたので、ご覧ください。皆様のご意見感想等、同窓会事務局までお寄せいただければ幸いです。

江極だより編集委員会

平成二十八年度行事予定

(全日制)	4月8日(金) 入学式
	5月1日(日) 体育大会
	9月27日(火) 前期卒業式
	10月8日(土) 湧心祭(文化祭)
	3月1日(水) 卒業式
	3月24日(金) 後期卒業式
(定時制)	4月11日(月) 入学式(定)
	6月12日(日) 県定通体育大会
	7月15日(金) 生活体験発表会
	9月18日(日) 前期卒業式
	10月9日(日) 県定通文化大会
	10月19(水) 21日(金) 研修旅行
	11月4日(金) 湧定祭
	3月4日(土) 卒業式
(通信制)	4月17日(日) 前期入学式
	6月12日(日) 県定通体育大会
	7月10日(日) 生活体験発表会
	9月18日(日) 前期卒業式
	10月1日(土) 後期入学式
	10月2日(日) 文化発表会
	10月9日(日) 県定通文化大会
	3月5日(日) 後期卒業式



本年度 湧心館高校 校全日制は、上妻利博校長を第18代校長として迎え、4月8日(水)の入学式で希望に満ちた全日制新入生159名(男子78名、女子81名)を加えて、全校生徒408名(男子203名、女子205名)で新たな1年をスタートしました。今年度は「自立・責任・創造」の校訓のもと、「自己の特性を最大限に伸ばそう!」「他者と積極的に対話しよう!」「世のため人のために行おう!」を学べよう!と、本校が求める生徒像、授業や学校行事、部活動等の活性化を図っています。

これまでの湧心館高校全日制の教育活動を振り返ります。雨による順延により予定より一日遅れの5月17日(日)に体育大会が実施されました。水を含んだグラウンドの状況で、競技の進捗が心配されましたが、生徒、職員、体育大会への思いによって、青春フルパワーで、大会テーマ「輝くその手に掴む勝利の喜び」にある通信制の喜びを、素晴らしい大会となりました。

6月上旬の高校総体・総文祭は、サッカー、バスケットボール、硬式テニス、卓球、バドミントン、陸上競技、剣道、演劇、書道、写真、茶道の各部が参加し、日頃の練習の成果を存分に発揮しながらよく健闘しました。各部とも残しながら入賞はできませんでしたが、生徒の思い出に残る大会となりました。

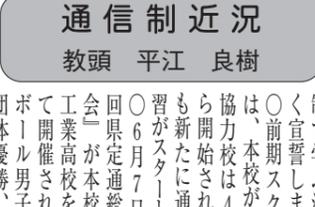
夏の全国高校野球選手権大会熊本県大会では、1回戦で大津高校と対戦し12対3で敗れ、昨年度の初戦敗退の雪辱を晴らすことが出来ませんでした。残念な結果でしたが、選手たちは懸命なプレーが随所にチャンスを生み出し、そのチャンスを生かすよう頑張ることが出来たことが、選手たちにとって大きな励みとなりました。

6月26日(金)には、生徒会役員選挙が行われ、新生徒会長に2年生の西村秋輝君、副会長に1年生の西水流知花さんが選ばれました。この二人を中心に組織された新生徒会執行部の活躍で、その後の生徒会行事が益々充実しています。

6月30日(火)から3日間、2年生はインターンシップ(企業体験実習)を行いました。先行きの不透明な現代にあって、働くことの厳しさを知りながら、働くことで得られる充実感や生活のための第一歩として非常に貴重な経験です。例年、このインターンシップでの経験が3年生になった時の職業選択に直結する生徒もいます。今年も生徒たちは、それぞれの体験先で多くの学びを得ることができていたようです。

10月9日(金)の芸術鑑賞では、熊本を中心に活躍の「エストゥディオ・アレグリア」によるフラメンコ「エス・ダンス」によるフラメンコが演じられました。生徒は、初めて目にするフラメンコの迫力に圧倒されながらも、演目と演目の間に準備された体験演奏や体験ダンスを経験して、心も体もフラメンコの魅力に引き込まれていました。翌10日(土)は「笑顔満開!湧心祭!!」をテーマとして文化祭が開かれました。開祭式に続き、ステージ発表が行われ、芸術(音楽)・選択者による合唱に始まり演劇部の上演で締めくくると、ステージ発表はどれも力作で、生徒たちの若々しい感性が見事に表現されました。また、各クラスや委員会、部活動の展示や、部活動のバザーも例年以上に充実し、育友会の食品バザーとともに大変盛況でした。

最後に、3年生の進路決定については、12月現在で進路状況です。3年部と進路部を中心とした進路指導の取組に、生徒たちが本気になって努力していることが成果として実を結んでいます。これからセンター試験をはじめ、大学一般入試が本番となります。今後、生徒全員が社会の大海に無事船出ができることを目指して、生徒、職員が一体となって進んでいく予定です。



本年度 湧心館高校 校全日制は、上妻利博校長を第18代校長として迎え、4月8日(水)の入学式で希望に満ちた全日制新入生159名(男子78名、女子81名)を加えて、全校生徒408名(男子203名、女子205名)で新たな1年をスタートしました。今年度は「自立・責任・創造」の校訓のもと、「自己の特性を最大限に伸ばそう!」「他者と積極的に対話しよう!」「世のため人のために行おう!」を学べよう!と、本校が求める生徒像、授業や学校行事、部活動等の活性化を図っています。

これまでの湧心館高校全日制の教育活動を振り返ります。雨による順延により予定より一日遅れの5月17日(日)に体育大会が実施されました。水を含んだグラウンドの状況で、競技の進捗が心配されましたが、生徒、職員、体育大会への思いによって、青春フルパワーで、大会テーマ「輝くその手に掴む勝利の喜び」にある通信制の喜びを、素晴らしい大会となりました。

6月上旬の高校総体・総文祭は、サッカー、バスケットボール、硬式テニス、卓球、バドミントン、陸上競技、剣道、演劇、書道、写真、茶道の各部が参加し、日頃の練習の成果を存分に発揮しながらよく健闘しました。各部とも残しながら入賞はできませんでしたが、生徒の思い出に残る大会となりました。

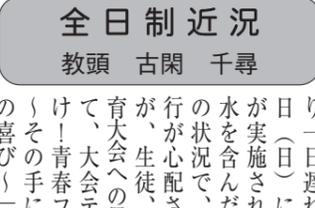
夏の全国高校野球選手権大会熊本県大会では、1回戦で大津高校と対戦し12対3で敗れ、昨年度の初戦敗退の雪辱を晴らすことが出来ませんでした。残念な結果でしたが、選手たちは懸命なプレーが随所にチャンスを生み出し、そのチャンスを生かすよう頑張ることが出来たことが、選手たちにとって大きな励みとなりました。

6月26日(金)には、生徒会役員選挙が行われ、新生徒会長に2年生の西村秋輝君、副会長に1年生の西水流知花さんが選ばれました。この二人を中心に組織された新生徒会執行部の活躍で、その後の生徒会行事が益々充実しています。

6月30日(火)から3日間、2年生はインターンシップ(企業体験実習)を行いました。先行きの不透明な現代にあって、働くことの厳しさを知りながら、働くことで得られる充実感や生活のための第一歩として非常に貴重な経験です。例年、このインターンシップでの経験が3年生になった時の職業選択に直結する生徒もいます。今年も生徒たちは、それぞれの体験先で多くの学びを得ることができていたようです。

10月9日(金)の芸術鑑賞では、熊本を中心に活躍の「エストゥディオ・アレグリア」によるフラメンコ「エス・ダンス」によるフラメンコが演じられました。生徒は、初めて目にするフラメンコの迫力に圧倒されながらも、演目と演目の間に準備された体験演奏や体験ダンスを経験して、心も体もフラメンコの魅力に引き込まれていました。翌10日(土)は「笑顔満開!湧心祭!!」をテーマとして文化祭が開かれました。開祭式に続き、ステージ発表が行われ、芸術(音楽)・選択者による合唱に始まり演劇部の上演で締めくくると、ステージ発表はどれも力作で、生徒たちの若々しい感性が見事に表現されました。また、各クラスや委員会、部活動の展示や、部活動のバザーも例年以上に充実し、育友会の食品バザーとともに大変盛況でした。

最後に、3年生の進路決定については、12月現在で進路状況です。3年部と進路部を中心とした進路指導の取組に、生徒たちが本気になって努力していることが成果として実を結んでいます。これからセンター試験をはじめ、大学一般入試が本番となります。今後、生徒全員が社会の大海に無事船出ができることを目指して、生徒、職員が一体となって進んでいく予定です。



本年度 湧心館高校 校全日制は、上妻利博校長を第18代校長として迎え、4月8日(水)の入学式で希望に満ちた全日制新入生159名(男子78名、女子81名)を加えて、全校生徒408名(男子203名、女子205名)で新たな1年をスタートしました。今年度は「自立・責任・創造」の校訓のもと、「自己の特性を最大限に伸ばそう!」「他者と積極的に対話しよう!」「世のため人のために行おう!」を学べよう!と、本校が求める生徒像、授業や学校行事、部活動等の活性化を図っています。

これまでの湧心館高校全日制の教育活動を振り返ります。雨による順延により予定より一日遅れの5月17日(日)に体育大会が実施されました。水を含んだグラウンドの状況で、競技の進捗が心配されましたが、生徒、職員、体育大会への思いによって、青春フルパワーで、大会テーマ「輝くその手に掴む勝利の喜び」にある通信制の喜びを、素晴らしい大会となりました。

6月上旬の高校総体・総文祭は、サッカー、バスケットボール、硬式テニス、卓球、バドミントン、陸上競技、剣道、演劇、書道、写真、茶道の各部が参加し、日頃の練習の成果を存分に発揮しながらよく健闘しました。各部とも残しながら入賞はできませんでしたが、生徒の思い出に残る大会となりました。

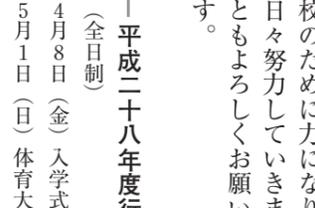
夏の全国高校野球選手権大会熊本県大会では、1回戦で大津高校と対戦し12対3で敗れ、昨年度の初戦敗退の雪辱を晴らすことが出来ませんでした。残念な結果でしたが、選手たちは懸命なプレーが随所にチャンスを生み出し、そのチャンスを生かすよう頑張ることが出来たことが、選手たちにとって大きな励みとなりました。

6月26日(金)には、生徒会役員選挙が行われ、新生徒会長に2年生の西村秋輝君、副会長に1年生の西水流知花さんが選ばれました。この二人を中心に組織された新生徒会執行部の活躍で、その後の生徒会行事が益々充実しています。

6月30日(火)から3日間、2年生はインターンシップ(企業体験実習)を行いました。先行きの不透明な現代にあって、働くことの厳しさを知りながら、働くことで得られる充実感や生活のための第一歩として非常に貴重な経験です。例年、このインターンシップでの経験が3年生になった時の職業選択に直結する生徒もいます。今年も生徒たちは、それぞれの体験先で多くの学びを得ることができていたようです。

10月9日(金)の芸術鑑賞では、熊本を中心に活躍の「エストゥディオ・アレグリア」によるフラメンコ「エス・ダンス」によるフラメンコが演じられました。生徒は、初めて目にするフラメンコの迫力に圧倒されながらも、演目と演目の間に準備された体験演奏や体験ダンスを経験して、心も体もフラメンコの魅力に引き込まれていました。翌10日(土)は「笑顔満開!湧心祭!!」をテーマとして文化祭が開かれました。開祭式に続き、ステージ発表が行われ、芸術(音楽)・選択者による合唱に始まり演劇部の上演で締めくくると、ステージ発表はどれも力作で、生徒たちの若々しい感性が見事に表現されました。また、各クラスや委員会、部活動の展示や、部活動のバザーも例年以上に充実し、育友会の食品バザーとともに大変盛況でした。

最後に、3年生の進路決定については、12月現在で進路状況です。3年部と進路部を中心とした進路指導の取組に、生徒たちが本気になって努力していることが成果として実を結んでいます。これからセンター試験をはじめ、大学一般入試が本番となります。今後、生徒全員が社会の大海に無事船出ができることを目指して、生徒、職員が一体となって進んでいく予定です。



本年度 湧心館高校 校全日制は、上妻利博校長を第18代校長として迎え、4月8日(水)の入学式で希望に満ちた全日制新入生159名(男子78名、女子81名)を加えて、全校生徒408名(男子203名、女子205名)で新たな1年をスタートしました。今年度は「自立・責任・創造」の校訓のもと、「自己の特性を最大限に伸ばそう!」「他者と積極的に対話しよう!」「世のため人のために行おう!」を学べよう!と、本校が求める生徒像、授業や学校行事、部活動等の活性化を図っています。

これまでの湧心館高校全日制の教育活動を振り返ります。雨による順延により予定より一日遅れの5月17日(日)に体育大会が実施されました。水を含んだグラウンドの状況で、競技の進捗が心配されましたが、生徒、職員、体育大会への思いによって、青春フルパワーで、大会テーマ「輝くその手に掴む勝利の喜び」にある通信制の喜びを、素晴らしい大会となりました。

6月上旬の高校総体・総文祭は、サッカー、バスケットボール、硬式テニス、卓球、バドミントン、陸上競技、剣道、演劇、書道、写真、茶道の各部が参加し、日頃の練習の成果を存分に発揮しながらよく健闘しました。各部とも残しながら入賞はできませんでしたが、生徒の思い出に残る大会となりました。

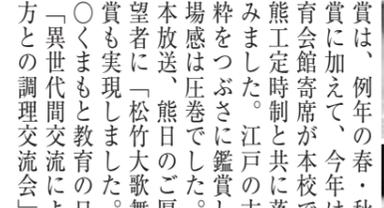
夏の全国高校野球選手権大会熊本県大会では、1回戦で大津高校と対戦し12対3で敗れ、昨年度の初戦敗退の雪辱を晴らすことが出来ませんでした。残念な結果でしたが、選手たちは懸命なプレーが随所にチャンスを生み出し、そのチャンスを生かすよう頑張ることが出来たことが、選手たちにとって大きな励みとなりました。

6月26日(金)には、生徒会役員選挙が行われ、新生徒会長に2年生の西村秋輝君、副会長に1年生の西水流知花さんが選ばれました。この二人を中心に組織された新生徒会執行部の活躍で、その後の生徒会行事が益々充実しています。

6月30日(火)から3日間、2年生はインターンシップ(企業体験実習)を行いました。先行きの不透明な現代にあって、働くことの厳しさを知りながら、働くことで得られる充実感や生活のための第一歩として非常に貴重な経験です。例年、このインターンシップでの経験が3年生になった時の職業選択に直結する生徒もいます。今年も生徒たちは、それぞれの体験先で多くの学びを得ることができていたようです。

10月9日(金)の芸術鑑賞では、熊本を中心に活躍の「エストゥディオ・アレグリア」によるフラメンコ「エス・ダンス」によるフラメンコが演じられました。生徒は、初めて目にするフラメンコの迫力に圧倒されながらも、演目と演目の間に準備された体験演奏や体験ダンスを経験して、心も体もフラメンコの魅力に引き込まれていました。翌10日(土)は「笑顔満開!湧心祭!!」をテーマとして文化祭が開かれました。開祭式に続き、ステージ発表が行われ、芸術(音楽)・選択者による合唱に始まり演劇部の上演で締めくくると、ステージ発表はどれも力作で、生徒たちの若々しい感性が見事に表現されました。また、各クラスや委員会、部活動の展示や、部活動のバザーも例年以上に充実し、育友会の食品バザーとともに大変盛況でした。

最後に、3年生の進路決定については、12月現在で進路状況です。3年部と進路部を中心とした進路指導の取組に、生徒たちが本気になって努力していることが成果として実を結んでいます。これからセンター試験をはじめ、大学一般入試が本番となります。今後、生徒全員が社会の大海に無事船出ができることを目指して、生徒、職員が一体となって進んでいく予定です。



本年度 湧心館高校 校全日制は、上妻利博校長を第18代校長として迎え、4月8日(水)の入学式で希望に満ちた全日制新入生159名(男子78名、女子81名)を加えて、全校生徒408名(男子203名、女子205名)で新たな1年をスタートしました。今年度は「自立・責任・創造」の校訓のもと、「自己の特性を最大限に伸ばそう!」「他者と積極的に対話しよう!」「世のため人のために行おう!」を学べよう!と、本校が求める生徒像、授業や学校行事、部活動等の活性化を図っています。

これまでの湧心館高校全日制の教育活動を振り返ります。雨による順延により予定より一日遅れの5月17日(日)に体育大会が実施されました。水を含んだグラウンドの状況で、競技の進捗が心配されましたが、生徒、職員、体育大会への思いによって、青春フルパワーで、大会テーマ「輝くその手に掴む勝利の喜び」にある通信制の喜びを、素晴らしい大会となりました。

6月上旬の高校総体・総文祭は、サッカー、バスケットボール、硬式テニス、卓球、バドミントン、陸上競技、剣道、演劇、書道、写真、茶道の各部が参加し、日頃の練習の成果を存分に発揮しながらよく健闘しました。各部とも残しながら入賞はできませんでしたが、生徒の思い出に残る大会となりました。

夏の全国高校野球選手権大会熊本県大会では、1回戦で大津高校と対戦し12対3で敗れ、昨年度の初戦敗退の雪辱を晴らすことが出来ませんでした。残念な結果でしたが、選手たちは懸命なプレーが随所にチャンスを生み出し、そのチャンスを生かすよう頑張ることが出来たことが、選手たちにとって大きな励みとなりました。

6月26日(金)には、生徒会役員選挙が行われ、新生徒会長に2年生の西村秋輝君、副会長に1年生の西水流知花さんが選ばれました。この二人を中心に組織された新生徒会執行部の活躍で、その後の生徒会行事が益々充実しています。

6月30日(火)から3日間、2年生はインターンシップ(企業体験実習)を行いました。先行きの不透明な現代にあって、働くことの厳しさを知りながら、働くことで得られる充実感や生活のための第一歩として非常に貴重な経験です。例年、このインターンシップでの経験が3年生になった時の職業選択に直結する生徒もいます。今年も生徒たちは、それぞれの体験先で多くの学びを得ることができていたようです。

10月9日(金)の芸術鑑賞では、熊本を中心に活躍の「エストゥディオ・アレグリア」によるフラメンコ「エス・ダンス」によるフラメンコが演じられました。生徒は、初めて目にするフラメンコの迫力に圧倒されながらも、演目と演目の間に準備された体験演奏や体験ダンスを経験して、心も体もフラメンコの魅力に引き込まれていました。翌10日(土)は「笑顔満開!湧心祭!!」をテーマとして文化祭が開かれました。開祭式に続き、ステージ発表が行われ、芸術(音楽)・選択者による合唱に始まり演劇部の上演で締めくくると、ステージ発表はどれも力作で、生徒たちの若々しい感性が見事に表現されました。また、各クラスや委員会、部活動の展示や、部活動のバザーも例年以上に充実し、育友会の食品バザーとともに大変盛況でした。

最後に、3年生の進路決定については、12月現在で進路状況です。3年部と進路部を中心とした進路指導の取組に、生徒たちが本気になって努力していることが成果として実を結んでいます。これからセンター試験をはじめ、大学一般入試が本番となります。今後、生徒全員が社会の大海に無事船出ができることを目指して、生徒、職員が一体となって進んでいく予定です。